

# 外国語

## 【外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

## 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

### 外国語 小学校

#### 1 ゴールを明確に位置付けた単元の学習過程

- ・外国語活動（外国語）における「深い学び」の実現に向けて、児童が見方・考え方を働かせながら、言語を使用する目的や場面、状況と言語材料の意味を結び付けることができるようにするなど、児童の思考が活性化される学習過程を位置付けた単元構成にします。
- ・単元を構成する際、ゴール（目指す具体的な姿）を明確にして、単元を通して身に付けさせたい力をイメージし、ゴールから逆算して（バックワードデザイン）1単位時間の目標を決め、目標の実現に向けて必要な活動を組み立てます。

#### 2 英語を用いて伝え合う言語活動の充実

- ・外国語による言語活動とは、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動です。発音練習や歌、英語の文字を機械的に書くなどの言語材料について理解したり練習したりする指導とは区別します。
- ・言語活動の設定に当たっては、児童が興味・関心のある題材等を扱い、児童の実態や発達の段階に合わせて英語を使用する必然性のある活動や、やってみたいと思うような活動を設定します。

#### 3 発達の段階を踏まえた目標の明確化

- ・2学年間を通じて外国語活動（外国語）の目標の実現を図るために、学年ごとの目標を設定します。
- ・外国語では、領域別の目標と関連付けた「学習到達目標」を必ず設定します。

### 外国語 中学校

#### 1 ゴールを明確に位置付けた単元の学習過程

- ・外国語における「深い学び」の実現に向けて、生徒が見方・考え方を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識した活動を通して、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を5つの領域における実際のコミュニケーション場面で活用することができるよう、具体的な課題等を設定します。
- ・単元を構成する際、ゴール（目指す具体的な姿）を明確にして、生徒に身に付けさせたい力をイメージし、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を、繰り返し位置付けます。

#### 2 目的や場面、状況を設定した言語活動の充実

- ・外国語による言語活動とは、英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う実際のコミュニケーションであり、コミュニケーションの目的や場面、状況を設定します。
- ・生徒が授業の中で英語に触れる機会を最大限に確保するとともに、授業全体を実際のコミュニケーションの場面とするため、生徒の理解の程度に応じた英語を用いて授業を行います。

#### 3 発達の段階を踏まえた目標の明確化

- ・生徒に求められる英語力を達成するために、領域別の目標と関連付けた「学習到達目標」を具体的な形で設定します。
- ・筆記テストや、面接やスピーチなどのパフォーマンス評価等の評価場面を位置付けます。

## 指導の一層の充実に向けて

- ・中学校では、平成30年度から令和6年度（2024年度）にかけて、毎年度、小学校での総学習量の異なる1年生を迎えます。小学校と緊密な連携を図るとともに、文部科学省HPにある「移行期間における教師用指導資料」や「生徒用補助教材“Bridge”」等を活用しましょう。
- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法の用語や用法の指導に偏ることがないように配慮して、言語活動と効果的に関連付けて指導しましょう。
- ・小学校で扱った簡単な語句や基本的な表現等の学習内容を繰り返し指導し定着を図りましょう。